

市議会だより

No.203

平成28年11月10日発行
編集／発行
福井市議会だより編集委員会
福井市大手3丁目10番1号
TEL.0776-20-5506



建設委員会視察の様子
(7月4日・福井駅東口 埋蔵文化財発掘現場)



経済企業委員会視察の様子(7月12日・福井競輪場)

主な内容

特別委員会が設置されました……P2
一般質問……P4～P8

さらに、競輪事業の活性化と競輪場施設の環境整備についてを調査項目とする、競輪事業対策特別委員会が設置されました。
そのほか、市政に対する一般質問を19人の議員が行い、9月21日、予定した日程を全部終え閉会しました。

また、今回提出された陳情1件を採択し、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書について」を審議した結果、原案のとおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

さらに、競輪事業の活性化と競輪場施設の環境整備についてを調査項目とする、競輪事業対策特別委員会が設置されました。
そのほか、市政に対する一般質問を19人の議員が行い、9月21日、予定した日程を全部終え閉会しました。

また、今回提出された陳情1件を採択し、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書について」を審議した結果、原案のとおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

また、今回提出された陳情1件を採択し、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書について」を審議した結果、原案のとおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

また、今回提出された陳情1件を採択し、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書について」を審議した結果、原案のとおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

また、今回提出された陳情1件を採択し、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書について」を審議した結果、原案のとおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

また、今回提出された陳情1件を採択し、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書について」を審議した結果、原案のとおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

9月

定例会

平成28年度福井市一般会計補正予算を可決

7月

臨時会

副市長の選任

7月臨時会は7月29日に招集され、副市長に西行茂氏を選任することに同意しました。今臨時会では、他に議案1件を審議した結果、原案どおり可決、報告1件については承認し、同日閉会しました。

9月定例会は8月29日から9月21日までの24日間の会期で開かれました。

今定例会では、「平成28年度福井市一般会計補正予算」をはじめ、「福井市手数料徴収条例の一部改正について」など市長提出の議案14件、報告5件を審議した結果、議案は10件を原案のとおり可決、4件を継続審査とし、報告は5件を受理しました。

市長提出の議案のうち、追加提出された平成27年度各会計歳入歳出決算の認定等の議案4件については、審査のため決算特別委員会を設置し、継続審査として閉会中に審査することに決定しました。

また、今回提出された陳情1件を採択し、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書について」を審議した結果、原案のとおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

さらに、競輪事業の活性化と競輪場施設の環境整備についてを調査項目とする、競輪事業対策特別委員会が設置されました。
そのほか、市政に対する一般質問を19人の議員が行い、9月21日、予定した日程を全部終え閉会しました。

特別委員会が設置されました

(敬称略)

委員会名	競輪事業対策特別委員会				
委員名	◎今村 辰和	○玉村 正人	堀川 秀樹	石丸 浜夫	鈴木 正樹
	堀江 廣海	谷本 忠士	水島 秀晃	池上 優徳	瀧波 滋
	菅生 敬一				
調査項目	①競輪事業の活性化 ②競輪場施設の環境整備				

委員会名	決算特別委員会				
委員名	◎奥島 光晴	○村田 耕一	西村 公子	片矢 修一	藤田 諭
	水島 秀晃	八田 一以	菅生 敬一	福野 大輔	近藤 實
調査項目	①各会計決算等の審査				

◎委員長 ○副委員長

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。
議案等の審議結果は、10～11頁に掲載しています。

7月臨時会

人事案件

副市長

平成28年8月9日に任期満了となる清水正明氏の後任として、西行茂氏を選任することに同意しました。

9月定例会

平成28年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で2億987万8千円を増額するもので、補正後の一般会計予算額は、1,128億852万8千円となります。

また、特別会計では、国民健康保険特別会計で、599万4千円を増額し、全会計で補正後の予算額は、2,225億952万2千円となります。

一般会計補正予算

農業従事者の担い手不足や生産額の減少などの課題に直面している産地の再生に向け生産基盤の整備に対する支援や、人材の確保・育成、大都市圏への販路開拓を行う未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト（地方創生推進交付金活用事業）や、持続的かつ安定的な漁業経営を実現するため、漁業協同組合が行う漁業施設の整備や加工設備の導入に対し支援を行う定置漁業振興支援事業、また、保育園や認定こども園に勤務する保育士等の業務負担の軽減を図るため、保育業務支援システム導入及び事故防止や事故後の検証のためのカメラ設置に係る経費を助成する保育所等業務効率化推進事業などに2億987万8千円を計上するものです。

国民健康保険特別会計補正予算

平成30年度から県と市町が共同で国民健康保険の運営を行うことに伴い、国民健康保険システムの改修を行う、国民健康保険システム改修事業に599万4千円を計上するものです。

条例

福井市手数料徴収条例の一部改正について

福井県屋外広告物条例及び福井県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うため、条例の一部改正をするものです。

人事案件

人権擁護委員

平成28年9月30日に任期満了となる井村彰男氏を引き続き同委員に推薦し、同日任期満了となる委員の後任として、山本久美氏を推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介しします。
(日程順に記載)

建設委員会

《中央公園整備工事第2期》

問 掘削広場ではイベントの開催等も計画されているため、給排水やパソル型ガスヒーター等の設備が必要だと考
えているが、現在の計画ではどうな
っているのか。

答 屋外施設なのでガスヒーター等の整備は考えていないが給水設備については掘削広場の北側のり尻に、排水設備については東西にある石垣の下付近に整備する予定である。

要望 給水設備と排水設備が少し離れているように思うので、使う側にとって不便にならないように配慮してほしい。また、掘削広場がにぎわいを求めていることから、パソル型ガスヒーターについても対応できるように配慮してほしい。



《木造住宅耐震診断等促進事業》

問 耐震診断及び補強プランの作成後、耐震改修に結びつけることが重要だが、実際に耐震改修に結びついたのはどのくらいか。

答 耐震診断及び補強プランの作成後に耐震改修に結びついたのは2割程度である。

問 今後、耐震改修を促進していくための方策はどうなっているか。

答 国が補正予算で耐震改修に対する補助を1件当たり30万円上乗せすることを検討しているため、本市でも来年度以降対応できるように取り組んでいく。

総務委員会

《第七次福井市総合計画の策定》

問 第3章「具体的な政策と施策」の分野Ⅱ「住みよいまち」の政策4「市民が自らの役割と責任を担い、誰もが尊重され活躍できる住みよいまちをつくる」において、「家庭、地域、職

場の中で、誰もが持てる力を発揮し、協力し合う社会の推進」という課題に対し、どのような議論があつて、「女性が輝く社会の実現を図る」という女性の活躍に関する施策としたのか。

答 今後、リーダークラスの役割を担う女性の育成が必要であるということも含めて、女性が輝く社会、また、高齢者が培ってきた技術・ノウハウ等を活かせるような社会は大事であるといった議論を踏まえて、「女性が輝く社会の実現を図る」という施策とした。

問 《財産の取得(防火衣二式)》
今回更新の対象となつている防火衣は平成18年度に一括して更新しているが、メーカー推奨の耐用年数の6年を既に4年超えており、更新が遅れているのではないか。

答 更新対象の防火衣は、メーカーによれば耐用年数の6年を経過してもISOの規格基準を下回るものではないということ、使用期間を2年延ばして平成26年度から3カ年計画で更新することにした。

教育民生委員会

《介護ロボット導入促進事業》

問 介護事業所等はそのような介護ロボットを導入する予定か。

答 体に装着して、起き上がりや移動を助けるロボットが2種類と認知症の人向けに部屋に赤外線センサーをつけて、想定外の動きをしたときにナースセンターにコールを鳴らす見守りセンサーである。

問 どのような事業所が導入するのか。また、今後対象事業所を増やしていく予定はあるか。

答 特別養護老人ホーム、認知症の方のグループホーム及び通所介護事業所に導入する予定である。また、国が全国の約5,500事業所で実際にロボットを使った結果を集約して方向性を示していく予定であり、その動向を注視していきたい。

問 《病児保育施設送迎サービス事業》
病児保育施設から離れて送迎料金が高くなるが、それについてはどのように考えているか。

答 病児保育施設である福井愛育病院と、各保育園の距離により送迎料金が差がでることになるが、この事業は登録制で、事前に利用料金について了承してもらった保護者に利用していただく制度であり、送迎料金については全て負担していただく予定である。

経済企業委員会

《未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト》

問 首都圏で開催する福井市フェアに参加する店舗の数はどれくらいあり、どのような食材を使ったメニューが提供されるのか。

答 40店舗の参加を目標としているが、なるべく多くの店舗に参加してもらいたいと考えており、東京事務所にも協力を求め、銀座料理飲食業組合連合会やふくいゆかりの店に積極的に呼びかけている。食材としては、コシヒカリやふくいサトモ、ジビエなど13品目ほどを考えている。

問 この事業の実施機関は福井愛育病院となっているが、今後の病児保育施設にも事業を広げていく予定はあるか。

答 これから5カ月間の利用状況をみたま上で、拡充していくべきかどうか考えていく。



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、9月5日から7日までの3日間、19人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

<p>① 今村 辰和 (一真会)</p> <p>1 総合計画と重要要望について 2 本市の高齢者福祉について 3 本市の地区集会施設の耐震補強について</p>	<p>② 後藤 裕幸 (志政会)</p> <p>1 減災対策について 2 おもてなし推進の強化について</p>	<p>③ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <p>1 災害時における本市のICT(情報通信技術)の活用について 2 高齢者が安心して住み続けられる取り組みについて</p>
<p>④ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 第七次福井市総合計画について 2 第24回参議院議員通常選挙について</p>	<p>⑤ 泉 和弥 (一真会)</p> <p>1 まちづくりと人材育成について 2 立地適正化計画と福井市都市交通戦略について 3 介護予防・日常生活支援総合事業について</p>	<p>⑥ 近藤 實 (志政会)</p> <p>1 ふるさと納税について 2 退職手当債、福井市の財政について 3 結婚に関する教育について</p>
<p>⑦ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <p>1 発達障がい児者及び気がかりな子の支援について 2 子どもの貧困の解消について 3 最低賃金を適正な水準に早期に引き上げることについて</p>	<p>⑧ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <p>1 政府の進める医療・介護制度の「改悪」と第七次福井市総合計画について 2 原子力防災訓練の実態と県内原発再稼働について 3 下請業者を守る取り組みと第七次福井市総合計画について</p>	<p>⑨ 水島 秀晃 (志政会)</p> <p>1 福井市における小中連携について 2 学区のあり方について 3 福井市の教育について</p>
<p>⑩ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <p>1 第七次福井市総合計画について 2 子どもの貧困対策について 3 障がい者への施策拡充について</p>	<p>⑪ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <p>1 中央公園周辺再整備事業について 2 中藤島公民館移転後の有効活用について 3 再開発事業に伴う賑わいの動向について</p>	<p>⑫ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 本市における救急車の出動について 2 本市の公式フェイスブックページについて</p>
<p>⑬ 瀧波 滋 (志政会)</p> <p>1 足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想について 2 本市の公園について</p>	<p>⑭ 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 ふくい鮮いちばについて 2 免鳥長山古墳について 3 グランピングについて</p>	<p>⑮ 伊藤 洋一 (志政会)</p> <p>1 福井駅周辺整備について</p>
<p>⑯ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 福井市公共施設等総合管理計画について</p>	<p>⑰ 奥島 光晴 (一真会)</p> <p>1 公営「スポーツ部活」について 2 由利公正のNHK大河ドラマ誘致における本市の活動について 3 職員のメンタルヘルス対策について</p>	<p>⑱ 田中 義乃 (一真会)</p> <p>1 北陸新幹線福井開業に向けた取り組みについて 2 食育について 3 ながらスマホについて</p>
<p>⑲ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 ふるさと教育の推進について 2 放課後子ども総合プランについて 3 観光と文化の連携強化について 4 市民の健康づくり対策について</p>		

一般質問要旨

第七次福井市総合計画について



いまむら しんかす

今村 辰和 議員

一真会

質問

現在、本市が策定に取り組んでいる第七次福井市総合計画の計画期間には、福井国体の開催、中核市への移行、北陸新幹線の福井開業などがあり、本市にとって重要な時期となる。

総合計画の将来都市像「みんなが輝く全国に誇れるふくい」は、どのようなまちづくりを目指し、どのような思いが込められているのか。

回答

住みよいまちというこれまでの本市の全国的な評価をさらに高め、本市の全てが輝き、みんなが豊かさを実感できるまちづくりを目指す。

また、人口減少社会の中で、将来にわたり、活力あるまちを築くためには、ふるさと福井に対する市民の誇りを醸成し、全国に向けて情報を発信していくことが重要であるという思いを込めている。

急傾斜地対策について



ことう ひろゆき

後藤 裕幸 議員

志政会

質問

地球温暖化の影響で、近年、各地で集中豪雨、ゲリラ豪雨による自然災害が発生している。市内にも県指定の土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域があるが、住民の不安を払拭するために対策に取り組む地区の現状と今後の計画は。

回答

東郷地区の脇三ヶ町から、今年4月に急傾斜地崩壊対策について要望を受けており、要望箇所は県指定の土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域であるため、引き続き県と対応を協議していく。また、上文殊地区から砂防ダムに関する要望を受けており、今後県と対応を検討していく。なお、現在の対策としては一乗地区の西新町で、平成24年度から県が急傾斜地崩壊対策事業として、法面の安全対策工事を行っている。

高齢者が安心して住み続けられる取り組みについて



むらた こういち

村田 耕一 議員

市民クラブ

質問

介護の長期化に伴い、介護離職の問題があるが、本市としてどのような対策を行っているのか。

回答

介護問題への対応も含めワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、平成27年度から、市の独自事業として企業向けに2つの事業を実施している。

1つ目は、「キラリ輝く職場環境づくり推進事業」で、就業規則の改正や職場研修の実施など、介護休業等の取得促進のために、職場環境の整備を行った企業に補助を行っている。2つ目は、「育児・介護休業取得推進企業応援事業」で、従業員が初めて介護休業や介護短時間勤務制度を利用した企業に奨励金を支給している。

第24回参議院議員通常選挙について



すこう けいいち

菅生 敬一 議員

公明党

質問

今回新たに有権者となった18歳、19歳の若者、特に大学生の投票率を上げるため、大学にも不在者投票所を設置すべきと考えるがどうか。

また、期日前投票所の利便性の向上を図るため、最新情報の発信や、開所時間の延長ができないか。

回答

今回大学に設置した期日前投票所では、本市以外に選挙権を有する大学生が不在者投票に求められた例もあることから、次回の選挙からは大学での不在者投票を実施する。

また、リアルタイムな情報については、SNS等を活用し積極的な情報発信に取り組む。さらに、期日前投票所の開所時間の延長については、先進事例を参考にしながら研究する。

女性防火クラブについて



いずみ かずや

泉 和弥 議員

一真会

質問

本市での女性防火クラブの現在の結成状況は。

また、女性防火クラブの役割は、家庭内防火から防火・防災活動へと広がっているが、今後どのように育成指導していくのか。

回答

女性防火クラブは、平成28年8月末現在で、市内48地区のうち40地区で結成されている。

また、近年は女性防火クラブにも地域と連携した活動が求められており、本市としては、自治会や自主防災会等に対して、女性防火クラブへの理解や協力を求めるとともに、防災訓練では計画段階から参加し、役割の明確化や連携を図るなど、地区内での活動が円滑に行えるよう育成指導していく。

ふるさと納税について



こんどう みほる
近藤 實 議員
志政会

質問

市民が他市町村へふるさと納税をすることにより、市民税の寄附金控除が増え、歳入としての市民税が減少していくことに大きな不安と危機感を感じている。そこで、本市のふるさと納税受け入れの推進について、返礼品の原価を40%以上に引き上げ、年間目標額を6億円としてはどうか。

回答

高額な返礼品等で寄附の増収を図る自治体が目立ち、制度本来の趣旨からかけ離れた現状への批判があることから、本市としては、制度の趣旨をしっかりと踏まえる中で、ふるさと納税の推進に取り組む。さらに、継続して本市を応援していただける方を増やしていくことなどにより、目標金額以上の寄附の獲得を目指す。

子どもの貧困の解消について



なかむら あやな
中村 綾菜 議員
市民クラブ

質問

県内の18歳未満の子どものいる世帯のうち、収入が生活保護水準以下の割合は5.5%という調査結果がある。本市における貧困家庭の子どもの実態を把握すべきと考えが、どのような調査ができるか。

回答

本市では独自の調査は実施しておらず、国、県の調査結果に基づき貧困の実態把握に努めている。また、乳幼児健診等のアンケート、新生児訪問等による子どもの成育状況の確認、保育園等での保育士等による状況把握、保育料算定や就学援助の所得確認などにより生活実態の把握に努めている。さらに、平成26年度から子供の貧困対策に関する関係所属会議を設置し部局を超えて経済困窮や育児放棄などの事例に対応している。

下請業者を守る取り組みを強めよ



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党議員団

質問

本市が平成27年度に発注した工事のうち、社員が10人未満の業者が落札した工事の元請業者の取り分は、下請業者1社当たりの10倍以上であり、下請業者の労働者を守るため、下請負届に下請負契約書を添付させるとともに、本市職員が直接現場労働者に賃金や待遇について聞き取りを行うべきではないか。

回答

本市では福井市工事請負約款により下請負届の提出を求めるとともに、必要に応じて下請負契約書の写しを提示させ、内容を確認している。なお、建設業法第31条において、国と県には建設業を営む者に対して必要な報告を求めることや立ち入り検査の権限が与えられているが、市には与えられていないため、聞き取りや是正指導はできない。

ICTの活用について



みずしま ひであき
水島 秀晃 議員
志政会

質問

小学校におけるICTの導入状況は。また、タブレット端末の活用方法や効果についての本市の見解は。

回答

今年度、全ての小学校に1学級分のタブレット端末を配備した。その活用方法と効果については、学習のポイントや画像・動画を示すことで児童の関心・意欲を高め、スムーズに学習活動に入ることができたり、動画比較機能を用いて手本との違いや学習前後の違いを客観的に比べることで技能の向上に役立てることができるとともに、画像や動画に直接書き込むことでプレゼンテーションの効果や表現する力を高めるなど、多様な学習展開が期待できると考えている。

市民不在で進められている中核市移行や本市の負担が増えることについて



にしむら きみこ
西村 公子 議員
日本共産党議員団

質問

中核市移行に向けた県との協議状況はどうか。また、市民への情報提供や説明が必要ではないか。さらに、交付税措置されない市職員の研修経費など、中核市移行準備に係る市の負担は。

回答

中核市移行に向けて、現在、移譲事務を担当する県と市の担当所属間で協議を行っており、来年6月頃には全ての協議を終えたいと考えている。また、中核市移行に関する市民への周知は、出前講座や市政広報等、あらゆる機会を捉えて効果的に実施していく。中核市移行準備に係る市の負担については、今後の県との協議を踏まえ精査していくが、全国施行時特別市市長会を通じて国に対してさらなる財政支援を要望している。

中央公園周辺再整備事業について



かたや しゅういち
片矢 修一 議員
市民クラブ

質問

今回の計画では、堀割広場（サンクンガーデン）が市役所庁舎とつながらなくなったが、その経緯と変更点は。また、カフェに対する本市の考え方と、整備のスケジュールは。

回答

市庁舎との接続については、市民参加のワークショップでの意見交換や、関係部局と協議を行い検討した。その結果、公園事業として堀割広場を整備し、将来の接続については、今後の市庁舎の利用形態に合わせて検討することとした。カフェについては、第1期工事で電気、上下水道の整備を行っている。カフェ予定地が第2期工事の影響範囲となることから、工事が完了するまでに事業者の募集方法等について関係課と協議していく。

本市の救急車の配備状況について



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

質問

119番通報が入った際に、管轄の消防署で既に救急車が出勤していた場合、どのような対応をするのか。また、隣接する市町の消防本部に救急車を要請する対応はとられているのか。

回答

本市の救急出動態勢は、救急現場までの到着時間の早い順に出動させる直近方式をとっていることから、管轄の消防署の救急車が既に出動していた場合、次に早く到着できる救急車を選んで出動している。また、隣接する消防本部への救急車の要請については、福井県消防相互応援協定に基づき、出動を求める体制をとっている。

足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想について



たかなみ しげる
瀧波 滋 議員
志政会

質問

足羽山の景観、眺望について、多くの人が訪れたいくなる山になるよう足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想があるが、進捗状況はどうか。

回答

基本構想は、足羽山・足羽川の魅力を向上させるための考え方を示したものであり、具体的な数値は記載していないが、福井国体が開催される平成30年を短期の目標年次とし、グリフィス記念館の整備など、短期に位置づけているものから、順次進めているところである。未着手になっているものについては、足羽山魅力向上計画を策定する中で検討していく。

免鳥長山古墳について



いけがみ まさのり
池上 優徳 議員
一真会

質問

古墳時代中期のものでは北陸地方で最大級であり、平成20年に国の史跡に指定された越前海岸にある免鳥長山古墳の貴重な歴史遺産を良好な状態で後世に伝えていくとともに、歴史教育の場や越前海岸の観光資源として活用できるように整備してはどうか。

回答

免鳥長山古墳は福井が誇る国の史跡であり、後世に伝えていく必要がある。また、古墳のある免鳥町の周辺には歴史的文化遺産が存在するほか、本市の観光拠点である「一乗谷」「まちなか」「越前海岸」をつなぐ動線上にあり、越前海岸の観光及び歴史教育の拠点として重要であると考える。今後、保存管理計画を策定し、貴重な歴史資源として活用していきたい。

福井駅東口交通広場について



いとう よういち
伊藤 洋一 議員
志政会

質問

福井駅東口交通広場完成までの自家用車、バスの混雑に対する対応策は検討しているのか。福井国体では関係者の移動はバスが主になるが、バスの発着場は。また、新幹線福井開業の際は利用者増が見込まれるが、新幹線高架下が混雑解消に活用できるのでは。

回答

自家用車の誘導のため、駐車場までの専用レーンの設置やバス乗降場のカラー舗装等の対策を講じる。国体開催時には臨時バス乗降場の設置が必要であり、設置場所について検討している。新幹線開業により駐車場需要の増加が見込まれることから、福井駅周辺の駐車場整備について調査を進めており、高架下の利用についても、調査結果を踏まえて検討する。

福井市公共施設等総合管理計画について



はった いちい
八田 一以 議員
一真会

質問

今後、公共施設やインフラの修繕・更新等にかかる費用は、膨大になると見込まれる。総合管理計画によれば、施設の長寿命化、施設面積の削減、施設経費の縮減に努力するとともに、公民連携、特にPFIによる公共施設の更新を目指すとのことだが、その取り組みの進捗状況は。

回答

現在、PPP/PFIに関する優先的検討規程の策定に向けて作業を進めているところであり、年内に策定する。また、規程の策定を含めた運営の初期段階を支援する、優先的検討運営支援を国に申請し、7月に支援を受けることになった。
今後、市民サービスの向上や財政運営の効率化を図ることができるよう、施設ごとに有利な手法を検討していく。

市職員のメンタルヘルス対策について



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
一真会

質問

本格的な地方分権時代を迎え、本市も少子高齢化、高度情報化、環境問題など広範な行政課題に的確に対応していかなければならない。業務が多忙化、多用化する中、地方公務員の長期病気休暇者は増加傾向にあるが、本市の現状と対策は。

回答

本年8月末現在、療養が30日以上となった長期病気休暇者は44人で、全職員に対する割合は1.7%、そのうち精神及び行動の障害による長期休暇者は18人で、全職員に対する割合は0.7%となっている。
対策については、不調に早期に気づき対応できるよう、各年代層の職員を対象に研修を行うったり、精神科医などによる相談体制も整備している。今年11月からは、ストレスチェックを新たに導入する。

北陸新幹線福井開業に向けた取り組みについて



たなか よしのり
田中 義乃 議員
一真会

質問

平成34年度の北陸新幹線福井開業は、人の流れを呼び込む大きなチャンスになる。開業効果を最大限高めるための対策、新幹線開業に絞り込んだ実施計画、アクションプランを作成すべきではないか。

回答

本市における開業効果を最大限に引き出し、さまざまな分野に波及させるためには、行動計画の策定が必要である。現在、県外からの観光誘客の拡大や、まちなかの賑わい創出など重点的に取り組む戦略及び重点分野、具体的施策を検討している。また、本市の各種計画や県及び民間の行動計画を調査研究し、新幹線関連事業の整理と、特に取り組むべき事業の検討を進めており、年度末までにアクションプランを策定する予定である。

中学生のピロリ菌対策について



しもばた けんじ
下畑 健二 議員
公明党

質問

胃がんの原因の99%はピロリ菌と言われており、中学生の時期に検査をし、除菌治療をすることで将来の胃がん等の病気が予防できる。先進市を参考にして、中学校2年生を対象にピロリ菌対策に取り組んでどうか。

回答

このピロリ菌検査は、学校保健安全法で定められた検査ではなく、受診は希望者のみである。先進市である高槻市の場合、中学生の受診率は初年度で約6割程度となっている。
希望制であり、必ずしも全員が受診しないことや、学校の定期健診と同時に実施することができないこと、また、学校の業務量の増加などが課題として挙げられる。今後、他の自治体の取り組み状況も参考にしながら研究していく。



予算特別委員会

各党派における主な質疑内容を紹介します。

一真会

堀江 廣海 奥島 光晴
谷本 忠士 泉 和弥
八田 一以

●ハピリンとその周辺整備

問 セーレンプラネットの利用者が目標に達しているかと聞いていますが、小・中学生の利用状況はどのようになっているのか。また、その利用状況は当初の予定どおりか。

答 中学生以下の利用者数は、8月末現在で福井市以外からの人数も含めて16,286人であった。また、福井市の学校と連携した学習利用では、9月9日現在で13の小・中学校で671人の利用があり、今後も当初の計画どおり、市内の多くの小・中学生に利用してもらえようPRしていきたい。

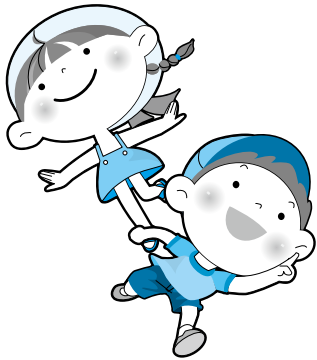
要望 商工労働部だけでなく、教育委員会とも連携して、ぜひ多くの子供たちに利用を勧めてほしい。

●産業のまちづくり

問 企業の転出防止や企業誘致を図るために従来の土地利用規制を打開する方法として、

昨年是指定にいたらなかった国家戦略特区を今回も提案するようだが、指定についてはどのように考えているのか。

答 土地利用規制を緩和することについては、現在の法律の中で行うべきであるといった厳しい回答が予想されるが、今回は、昨年の提案で指摘された内容を踏まえ、新たな提案も盛り込み、年内には指定に向けた提案をしていきたい。



●未来につなぐふくい「魅える化」プロジェクト

問 国の内示や交付決定の遅れに伴いプロジェクトのスタートが4カ月遅れ、各個別事業の実施期間が短くなったことで、プロジェクト全体への影響はないのか。

答 プロポーザルの実施や契約行為までの準備等を、できる限り早期に行うことで実質的な事業期間を確保し、既に実施事業に関する調整に取りかかっている。事業期間終了の年度末に向けて、なるべく早い時期、また効果が高い時期に事業を実施していきたい。

志政会

石丸 浜夫 伊藤 洋一
藤田 諭 水島 秀晃
近藤 實

●福井市文化会館、福井市民福祉会館

問 昭和43年の建設以来、数々の公演などが開催されてきた福井市文化会館の整備基本構想・基本計画策定に市民の思いをどのように反映させるのか。

答 福井市文化会館を利用する方や来場する方を始め

市民からいろいろな意見を聞くことが大切と考えており、本年度の基本構想策定及び来年度の基本計画策定にあたり、ワークショップを開催して市民の皆様の意見を取り入れて進めていきたい。

●国道305号沿線の整備

問 県では国道305号の糸崎町地係のカーブの整備を計画しているようだが、工事の概要や進捗状況はどのようになっているのか。

答 工事の概要については、海側に張り出す工法で、

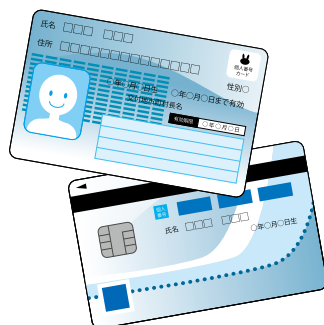
道路幅員は車道部と路肩部を合わせて7.5メートルとする計画である。進捗状況については、県において、平成27年度に事業を開始し、道路詳細設計を行い、本年度は丈量測量及び用地買収の準備に取り掛かっている。

●事務の効率化

問 電子申請は、事前のチェックができ、申請に来庁する必要がないなどメリットが大きく、マイナンバーで個人を証明できるようにすることで、

今後はさらに申請が容易になると思うが、電子申請の活用をどのように考えているのか。

答 現在国ではマイナンバーを活用した電子申請システムの導入を検討しており、児童手当や保育所入所等の電子申請が可能になる見込みである。本市としても、国の動向を注視して、適切に対応していきたい。



市民クラブ

中村 綾菜 玉村 正人
片矢 修一

●福井市が管理するプール

問 三秀プール爆発事故の要因の一つとして、2年前から閉鎖されている施設をそのままにしていたことが挙げられる。こういう事故以外に、不審者や動物の侵入も考えられるため、速やかに解体・撤去するべきではないか。

答 今年度の当初予算にプール解体のための設計費用を計上しており、来年度から解体工事を行う予定である。

●幼稚園・保育園・認定こども園の受け入れ体制

問 本市では障がい児の受け入れについて、どのように各園を指導しているのか。

答 公立の園については障がいの有無にかかわらず受け入れ体制を取っている。私立の保育園及び認定こども園についても、市の基準に基づいて、障がい児を抱える保護者のニーズに最大限応えるよう指導している。

公明党
下畑 健一

●防災・減災対策

問 グループホームなどの要配慮者利用施設に対し、どのような災害対応の指導をしているのか。

答 市内の要配慮者利用施設に対して雨量や河川の水位状況を知ることができる防災情報メールの登録を促す通知を行うとともに、土砂災害警戒区域にあるグループホームなどの福祉施設については速やかな情報伝達が必要であることから、防災行政無線が聞ける戸別受信機を設置している。

また、岩手県で発生した災害の検証も踏まえ、今後グループホームなどの要配慮者利用施設に対して関係部局と連携して避難確保計画の作成と、その理解を促していく。

日本共産党議員団
西村 公学

●就学援助制度の拡充・改善

問 大きな予算を伴う学校施設の耐震化が一段落したことから、就学援助制度を拡充・改善することに予算をつけて、子供の貧困を改善するべきではないか。

答 耐震補強工事は終わったが、他の設備に対する要望も受けている中で、その状況を踏まえながら対応を考えていく必要がある。



議案等の審議結果

(7月臨時会)

議案番号	件名	審議結果		賛否の分かれた議案 (賛否状況は11頁に掲載)
第68号議案	福井市母子家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部改正について	7月29日	原案可決	
第69号議案	副市長の選任について	〃	同意	
第24号報告	専決処分の承認を求めることについて(和解及び損害賠償額の決定について)	〃	承認	

議案等の審議結果

(9月定例会)

議案番号	件名	審議結果		賛否の分かれた議案 (賛否状況は11頁に掲載)
第70号議案	平成28年度福井市一般会計補正予算	9月21日	原案可決	●
第71号議案	平成28年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃	
第72号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	〃	〃	
第73号議案	工事請負契約の締結について(中央公園整備工事(第2期))	〃	〃	●
第74号議案	財産の取得について(防火衣一式)	〃	〃	●
第75号議案	財産の取得について(消防ポンプ自動車)	〃	〃	●
第76号議案	財産の取得について(高規格救急車)	〃	〃	●
第77号議案	財産の取得について(軽トラック消防車)	〃	〃	●
第78号議案	市道の路線の認定について	〃	〃	
第79号議案	第七次福井市総合計画の策定について	〃	〃	●

議会日誌 (平成28年7～9月)

7月21日	福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動(大阪市)
22日	議会運営委員会
26日	全国市議会議長会第204回理事会(東京都)
27日	日本海六県港湾都市議会協議会(金沢市)
28日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合全員協議会、第166回定例会(あわら市)
8月9日	福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動(東京都)
10日	福井県市議会議長会定期総会
22日	議員全員協議会、議会運営委員会
25日	北信越市議会議長会理事会(松本市)

7月臨時会

7月29日	議員全員協議会、本会議、議会運営委員会
-------	---------------------

9月定例会

8月29日	本会議
30日	議会運営委員会
9月5日	本会議(一般質問)
6日	本会議(一般質問)
7日	本会議(一般質問)
8日	総務委員会、建設委員会
9日	教育民生委員会、経済企業委員会
14日	予算特別委員会
15日	予算特別委員会
16日	議会運営委員会
21日	議員全員協議会、本会議



編集後記

秋も深まってきました。秋と言うと、ヴェルレーヌの「落葉」「秋の日の ヴィオロンの ためいきの 身に しみて ひたぶるに うら悲し …」を思い出します。芸術の秋、時々、ゆったり過ごしたいものです。

さて、9月定例会で、第七次福井市総合計画策定の議案が可決され、今後5年間の福井市の方向性を決定しました。今後予算付けがなされ、具体的に動いていくことになります。我々議員は、困難な今の時代ですが、未来を開いていけるよう、しっかり勉強し挑戦的に歩んでいきたいと思えます。(後藤、近藤)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

中継する会議

- ・本会議
- ・各常任委員会
- ・各特別委員会

インターネット中継を実施しています



福井市議会では、より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、YouTube(ユーチューブ)のインターネットストリーミングサービスを利用した録画放送の配信を行っています。

傍聴に来られない人も、会議の映像をご覧になれます。

※インターネット中継は、福井市議会ホームページからご覧いただけます。なお、この中継は、福井市議会の公式記録ではありません。

次回は
12月定例会
です。

日程は
ホームページで
掲載中です

傍聴して
みませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

- 本会議 (席数：91席 車イス用：6席)
- 常任委員会 総務・建設・教育民生・経済企業
- 議会運営委員会
- 特別委員会 予算・競輪事業対策
- 議員全員協議会



お問い合わせ ☎0776-20-5506 議会事務局 庶務課